

宇都宮市立桜小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童の割合は87.2%で、国の平均を上回っている。自分のよさや成長を実感できるような活動を積極的に取り入れることで自己肯定感の高まりが見られたと考えられる。今後も、特別活動を中心に自分で考えやり遂げる経験をさせ、達成感を味わうことで、自分に自信をもって主体的に活動する児童を育成していきたい。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合は100%だった。引き続き、一人一人のよさを認め、そのよさを発揮できるような環境を作っていく。

○「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合は91.5%で、国の82.4%を大きく上回っている。日頃の学習において目標を明確に設定するような取り組みや、キャリアパスポート活用の成果であると考えられる。今後、総合的な学習の時間に、職業について調べる学習に自己の課題を設定し取り組むことで、さらに将来への見通しをもたせ、「なりたい自分」を見付けられるよう指導していきたい。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童は100%、「人が困っているときは、進んで助けたい」と回答した児童の割合も100%と高い割合である。道徳科の時間や日々の児童指導において、相手を思いやる心の育成やいじめを絶対許さない態度の育成に努めた結果である。引き続き、互いを思いやり、助け合えるよりよい集団づくりを目指していきたい。

○「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と回答した児童の割合が高い。「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」や「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか」の回答を見ても、家庭でのルールを守りながら利用している様子が見受けられる。ネットトラブル巻き込まれることがないように、家庭と連携しながら情報機器の活用を進めていきたい。

●「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した児童は83%、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができている」と回答した児童が85.1%になっている。学んだことを生かしたりつなげたり、結び付ける習慣があまりない児童が多い。他教科と結びつけて関連させたり、実生活に生かすことができる具体的な場面を想起させたりしたい。課題の出し方を工夫したり授業の展開を工夫したりして、分かった点、分からなかった点を見直し、振り返りの充実が定着していけるようにしたい。

●「1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の回答では、「普段(月曜日から金曜日)は1時間未満」と回答した児童は53.2%、「土曜日や日曜日では1時間未満」と回答した児童は44.7%であった。そのうち全くしない児童も12.8%いた。今後は課題の出し方を工夫し、授業の学習が家庭学習につながるようにしていきたい。

●算数に対して苦手意識をもっている児童が約半数いる。少人数クラスでの学習の充実を図り、問題が解けたときの達成感などを味わわせながら苦手意識を減らしていきたい。

宇都宮市立桜小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣	自分で計画を立て、家庭学習に取り組む ・「家庭学習のすすめ」の活用 ・「家庭学習のヒント」の活用	「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定割合が83%。国の平均より2.3ポイント高かった。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか」の肯定割合が91.5%。	自分の考えをまとめ、書く力を育成する取組	国語科を中心として、全教科で書く力を育成 ・言語活動の充実 ・書く機会の充実